

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.23

第 48 回大会を終えて

大会準備委員長 竹熊尚夫（九州大学）

九州大学での第 48 回大会を終え、既に 1 か月以上を経過しました。現在、会計などの処理をほぼ終了し、節電要請の中、厳しい暑さを迎えています。

6 月 15 日から 17 日までの今大会は大きなトラブルもなく、個人的には盛会で大成功であったと思っています。勿論、小さなトラブルは多々ありました。特に、大会期日が一週間早まったことについては、紀要編集、学会事務、大会運営、課題研究、他学会との調整などに思いもしなかった不都合が生じ、会員の皆様にはいろいろな点でご迷惑をお掛けしたのではないかと申し訳なく存じています。大会当日はあいにくの雨で、急遽、傘用ビニールを調達するなど、雨対策にもバタバタ続きで、最終日にやっと晴れ間がのぞき、ホッとしたように思います。ただ、その次の週末は九州北部豪雨の走りとなる大雨でしたので、その点だけは早い開催で良かったのかもしれませんが。



< 大会会場 >

第 48 回大会は、15 日金曜日の大学の授業後の夜の 7 つのラウンドテーブルから 100 名近い会員の参加がありました。翌日、翌々日の自由研究発表は、43 部会、153 件の自由研究発表申込があり、盛況でした。準備委員会では何とか 4 つのセッションに割り振り、様々な発表を聞ける機会を増やせたのでは無いかと思っています。

自由研究以上に、課題研究の I と II、公開シンポジウムでは施設設備の面でご不便をお掛けしましたが、関係各位のご協力の下、興味深い、アカデミックな議論が活発にかわされたと同っています。また、司会をお引き受けいただいた先生方には、何かと突然かつ不躰なお願いばかりで、十分な御礼が出来ませんでした。この場をお借りして深く感謝申し上げます。



< 自由研究発表 >

大会には海外から、また臨時会員の参加は予想より少なかったものの、364名の参加登録で、シンポジウムでの一般参加者やスタッフも合わせると400名を超える大会となりました。特に、100名程度しか見込んでいなかった懇親会には、200名を超える参加があり、これも急遽、スタッフが食料とお酒を調達に走るなどうれしい誤算もありました。

今大会の準備は前年度11月頃より大会準備委員会の組織と役割分担を九大のみならず、福岡近郊の大学の先生方にもお世話になりながら進めました。全体会議も7回を数えました。スタッフとしてご協力いただいた九大内外の先生方のお力添えがあってこそはじめて今大会は開催できたと実感しています。そしてまた、大塚豊会長をはじめ学会事務局の先生方には、大会校からの勝手なお願いに何度もご対応いただき、あわせて感謝申し上げます。

総会の席で申し上げましたが、比較教育では長い歴史を持つ九大の箱崎の地で開催される最後の比較教育学会でした。次回は新しい九大のキャンパスか、九州

の他大学でお迎えすることが出来ればと存じます。改めまして、ご協力いただきました会員の皆様に、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

ありがとうございました。



< 課題研究 >



< 公開シンポジウム >

第49回大会のご案内

第49回大会は、上智大学において、以下のとおり開催させていただくことになりました。会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 日 程：2013年7月5日（金）－7月7日（日）
- 会 場：上智大学四ツ谷キャンパス
- 連絡先：第49回大会準備委員会委員長 杉村 美紀

大会準備委員会アドレス jces49sophia@gmail.com

■ 平塚賞

第 22 回平塚賞の選考を終えて

日本比較教育学会第 22 回平塚賞の候補作品を募集したところ、2 点の応募（いずれも他薦）がありました。平塚賞運営委員会において、応募作品について慎重な審査をおこなった結果、石川裕之会員（畿央大学教育学部現代教育学科助教）の『韓国の才能教育制度—その構造と機能—』（東信堂 2011 年）に対して第 22 回平塚賞を授与することを決定しました。本書において韓国における才能教育の構造と機能の変容を、理念上その対極にある

平準化政策との関連で捉え、著者自身の現地調査と豊富な情報・データの収集により、教育の機会均等の原理と才能教育の発展が表裏をなして展開したことを実証したことが高く評価されました。九州大学で開催された第 48 回日本比較教育学会大会の総会（6 月 16 日）の場で授賞式を挙行し、大塚 豊会長より石川会員に賞状と賞金が授与されました。

宮腰英一（平塚賞運営委員会委員長）

第 22 回平塚賞を受賞して

石川 裕之（畿央大学）

この度は、拙著『韓国の才能教育制度—その構造と機能—』に対して名誉ある賞を頂戴し、心より御礼申し上げます。これまで、本学会会員の皆様をはじめとする日韓両国の諸先生方より、数多くのご指導とご支援を賜りました。深く感謝申し上げます。

拙著がテーマとする才能教育とは、特定の分野・領域で優れた能力と適性を持つ子どもの才能を伸長するための教育を指します。才能教育は元来特別な教育ですので、その必要性や社会的役割も国や時代によって異なります。それではなぜ、隣国の韓国では才能教育が盛んなのか。その成果と課題は何なのか。拙著はこうした素朴な疑問に対して、制度的な側面から明らかにしようとしたものです。もちろん拙著にはまだまだ不十分な点が

たくさんありますし、韓国の才能教育そのものも猛烈なスピードで変化を続けております。今後一層研究に精進し、韓国の才能教育の光と影をしっかりと見据えていくことで、いつか日本の才能教育に対する示唆を導き出すことができればと思っております。



■ 平塚賞運営委員会からのお知らせ

平塚賞運営委員会からのお知らせ

来年度の第 23 回平塚賞候補作品を例年通り下記のとおり募集します。応募は自薦、他薦を問いません。多くの会員からの応募を期待しています。

1. 対象作品 : 2012 年 1 月～12 月に公刊された比較教育学に関する著書・論文（分担執筆を含む。ただし連名のものを除く）
2. 応募要領 : 本学会ホームページ掲載の「平塚賞候補

著書・論文推薦書」(MS-Word, PDF) に必要事項を記入し、当該著書・論文 1 部とともに提出すること。

3. 締め切り : 2013 年 1 月 15 日(必着)

4. 送付先 : 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院教育学研究科内

日本比較教育学会・平塚賞運営委員会
委員長 宮腰 英一 宛

宮腰 英一(平塚賞運営委員会委員長)

■ 紀要編集委員会からのお知らせ

前期の編集委員会よりずっと検討されてきた投稿規定の改訂を行い、学会ホームページ及び最新の紀要第45号に掲載しました。この投稿規定は現在編集中の第46号より適用されます。投稿される方の誤解がないよう、よりわかりやすく改訂したつもりです。

なお、第46号には総計28本の御投稿があり、うち6本が形式審査を通過できませんでした。第44号の10本、第45号の9本と比べると一投稿規程改定の成果もあるのか一減少していますけれども、紀要編集委員会としてはまだ満足できる水準にはありません。せっかく年二回しか発行されない紀要に御投稿いただくのですから、投稿者各位におかれまし

ては、なにとぞ、投稿規程を熟読の上、積極的なご投稿をお願いします。また、査読基準も一部見直しました。新たに付け加わった項目としては「資料・データが適切かどうか」があります。資料・データが適切であるかどうか、限界があるかどうか、そのことをしっかり吟味しているかどうか、等を評価の一項目にしたということです。第47号からは私は副委員長になり、竹熊尚夫副委員長が委員長になられますが、この点にもご留意の上、論文を作成されるようお願い申し上げます。

山内乾史（紀要編集委員会委員長）

■ WCCES 報告

1. WCCES 次回大会

WCCES 第15回大会が下記の要領で開催されることが理事会で説明され承認されました。わが国の第49回大会の少し前になりますが、日本から多くの参加者・発表者があることが期待されています。

日時：2013年6月24日（月）～28日（金）

会場：ブエノスアイレス大学経済学部校舎

主催：アルゼンチン比較教育学会

テーマ：New Times, New Voices. Comparative Perspectives for Education

大会ウェブサイト：<http://www.wcces2013.com.ar>

2. 1995年～2012年まで17年の長きにわたり事務局長として勤務されたオーストラリア・ウーロンゴン大学のChristine Fox教授の退任に伴い、新事務

局長の選出が行われ、Mina O'Dowd（スウェーデン・ルンド大学）、Brian Denman（豪ニューイングランド大学）、Diane Napier（米ジョージア大学）の3氏が立候補者されましたが、投票の結果、Diane Napier氏が選出されました。

3. 香港比較教育学会との紀要交換など交流覚書

WCCES 加盟学会の一つである香港比較教育学会（李軍会長／香港教育学院教授）との間で去る6月1日に覚書を取り交わし、紀要の交換から交流を始めることで合意した。

大塚 豊

■ 事典編集委員会

『比較教育学事典』の刊行にむけて2009年6月に立ち上げられた編集委員会は、3年を経て事典が刊行されたことに伴い、その任務を終えました。編集委員14名、編集協力委員15名は、項目の選定をはじめ、執筆者の人選、執筆依頼、原稿のとりまとめおよび修正、索引の作成と、各種の編集作業に従事し、無事に事典を完成させることができました。会員の皆様とともに、本事業の完了を喜びたいと思います。なお、東信堂より刊行された同事典は、本学会の会員については12600円を会員のための特別価格10000円で購入できることになっています。



編集会議開催（国立教育政策研究所2010.10）

（事典編集委員長 大塚豊）

■事務局からのお知らせ

●年会費納入のお願い

本ニュースレターとはべつに、年会費を滞納されている方へ納入のお願いと振込用紙を近日中に発送予定です。海外会員様へはメールにてご案内をさせていただきます。納入状況を必ずご確認ください、未納分がある方は同封の郵便振替用紙にて早目の納入にご協力をお願い致します。会費は通常会員10,000円、学生会員6,000円です。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。
3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕 00820-6-16161
日本比較教育学会事務局
〔銀行口座〕 広島銀行西条南支店
普通 3126345
日本比較教育学会 一般

※銀行振り込みにより納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報下さいますよう、お願い申し上げます。また所属機関からの振り込みの場合もご一報下さい。大学名にてお振り込みがあっても会員名がわからず未納となっているケースが見受けられます。

●新入会員リスト

(2012年2月～9月、入会申込み順)
関口洋平(京都大学院生)
上手裕子(名古屋大学院生)
河井由佳(広島大学院生)
森田実希(広島大学院生)
津田昌宏(東京大学院生)
斎藤里美(東洋大学)
金性希(大学評価・学位授与機構)
Javzan Sukhbaatar (Institute of Finance & Economics, Mongolia)
Auxillos John Yam (東京工業大学院生)
樋口清香(名古屋大学院生)
花井渉(九州大学院生)
大野理実(お茶の水女子大学院生)
本所恵(金沢大学)
古市好文(法政大学院生)
Langager Mark William (国際基督教大学)
劉牧(名古屋大学)
西川芳昭(名古屋大学)
Dayan-Ochir Khishigbuyan (READ project, World bank)
桜井愛子(神戸大学)
島村靖治(神戸大学)
Vickers Edward Anthony (九州大学)
叶林(杭州師範大学教育科学学院)
森利枝(大学評価・学位授与機構)
植田啓嗣(早稲田大学院生)
毛琦(神戸大学院生)
市瀬智紀(宮城教育大学)
宇原英美(神戸大学院生)
三田祐規子(神戸大学院生)
腰野雄平(神戸大学院生)

國松茉莉絵(神戸大学院生)
塩見睦子(神戸大学院生)
細川由衣(神戸大学院生)
山川奈沙(神戸大学院生)
竹下真理(神戸大学院生)
飯田明葉(東北大学院生)
朴賢淑(東北大学)
Rukundo Mary(神戸大学院生)
Kek Lay See(神戸大学院生)
亀山友理子(JICA 研究所)
伊藤麻里紗(株式会社シンドバッド・インターナショナル)
頼 羿廷(東北大学院生)
谷川裕稔(四国大学短期大学部)
邵京京(神戸大学院生)
高橋まりな(名古屋大学院生)
小山晶子(慶応義塾大学院)
金子聖子(大阪大学大学院工学研究所)
米澤由香子(東北大学)
Zahar Angga Setiawan(神戸大学院生)
河井栄一(アジア科学教育経済発展機構)
虎岩朋加(名古屋大学国際交流協力推進本部)
貝塚乃梨子(上智大学院生)
松岡亮二(東北大学 大学院 文学研究科グローバルCOE プログラム「社会階層と不平等教育研究拠点」)
石野紗也子(神戸大学院生)

(2012年9月11日現在の会員数1051名)

●学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会に寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。(なお、紀要類の寄贈については、数が多いために省略させていただきました。ご了承ください。)

- ・OECD 教育研究革新センター／世界銀行編著、斎藤里美監訳、徳永優子・矢倉美登里訳『国境を越える高等教育 教育の国際化と質保証ガイドライン』明石書店、2008年。
- ・東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター「多言語多文化 実践と研究」Vol. 3、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター、2010年。
- ・日本国際教育学会創立 20 周年記念年報編集委員会編『国際教育学の展開と多文化共生』学文社、2010年。
- ・佐藤一子著『イタリア学習社会の歴史像 社会連携にねざす生涯学習の協働』東京大学出版会、2010年。
- ・ユーリア・エンゲストローム著、松下佳代・三輪建二監訳『変革を生む研修のデザイン 仕事を教える人への活動理論』鳳書房、2010年。
- ・「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク編『日本の「子どもの貧困対策法」にむけて イギリスに学ぶ子どもの貧困解決』かもがわ出版、2011年。
- ・賽漢卓娜著『国際移動時代の国際結婚 日本の農村に嫁いだ中国人女性』勁草書房、2011年。
- ・ダイアン・ラヴィッチ著、末藤美津子訳『教育による社会的正義の実現 アメリカの挑戦(1945~1980)』東信堂、2011年。
- ・マーク・ブレイ、ボブ・アダムソン、マーク・メイソン編著、杉村美紀・大和洋子・前田美子・阿古智子訳『比較教育研究 何をどう比較するか』上智大学出版、2011年。
- ・石戸教嗣・今井重孝編著『システムとしての教育を探る自己創出する人間と社会』勁草書房、2011年。
- ・馬淵仁編著『「多文化共生」は可能か 教育における挑戦』勁草書房、2011年。
- ・杉谷祐美子編著『リーディングス 日本の高等教育2 大学の学び 教育内容と方法』玉川大学出版部、2011年。
- ・小方直幸編著『リーディングス 日本の高等教育4 大学から社会へ 人材育成と知の還元』玉川大学出版部、2011年。
- ・米澤純純編著『リーディングス 日本の高等教育7 大学のマネジメント 市場と組織』玉川大学出版部、2011年。
- ・島一則編著『リーディングス 日本の高等教育8 大学とマネー 経済と財政』玉川大学出版部、2011年。
- ・ピーター・D・ハーショック、マーク・メイソン、ジョン・N・ホーキンス編著、島川聖一郎、高橋貞雄、小原一仁監訳『転換期の教育改革 グローバル時代のリーダーシップ』玉川大学出版部、2011年。
- ・對馬達雄編著『ドイツ過去の克服と人間形成』昭和堂、2011年。
- ・石川裕之著『韓国の才能教育制度—その構造と機能—』東信堂、2011年。
- ・フランク・モリツグ編著、小川洋・溝上智恵子訳者代表『ロッキーの麓の学校から 第2次世界大戦中の日系カナダ人収容所の学校教育』東信堂、2011年。
- ・嶺井明子・川野辺敏編著『中央アジアの教育とグローバリズム』東信堂、2012年。
- ・桐谷正信著『アメリカにおける多文化的歴史カリキュラ

ム』東信堂、2012年。

- ・山田礼子著『学士課程教育の質保証へむけて 学生調査と初年次教育からみえてきたもの』東信堂、2012年。
- ・浜野隆・三輪千明著『発展途上国の保育と国際協力』東信堂、2012年。
- ・ホーン川嶋瑠子『スタンフォード 21世紀を創る大学』東信堂、2012年。
- ・朱永新著、石川啓二・王智新訳『私の理想 新教育の夢 朱永新中国教育文集1』東方書店、2012年。
- ・牧貴愛著『タイの教師教育改革 現職者のエンパワメント』広島大学出版会、2012年。
- ・ジャック・メジロー著、金澤睦・三輪建二監訳『おとなの学びと変容 変容的学習とは何か』鳳書房、2012年。
- ・OECD 編著、斎藤里美監訳『OECD 教員白書—効果的な教育実践と学習環境をつくる』明石書店、2012年。
- ・関啓子著『コーカサスと中央アジアの人間形成』明石書店、2012年。
- ・中留武昭『大学のカリキュラムマネジメント—理論と実際—』東信堂、2012年。

●事務局業務の外部委託について

前号でもお知らせしましたが、現在、本学会では事務局業務の一部を株式会社ガリレオ・学会業務情報化センターへ委託しています。会員の皆様からのお問合せなどは新事務局までお願い致します。また、会員情報の更新や会費の納付状況の確認はオンライン上で会員ご自身が行えるようになっていますので、ご活用下さい。

図書（寄贈本）・刊行物の送付、学会運営に関する連絡は広島大学内事務局までお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科

日本比較教育学会・広島大学内事務局

TEL & FAX: 082-424-6231

E-mail: jcesjimu@hiroshima-u.ac.jp

日本比較教育学会事務局

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10

アーバン大塚3F

(株) ガリレオ 学会業務情報化センター

Tel : 03-5907-3750 Fax : 03-5907-6364

E-mail g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

URL <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>